

2025年度

二チキッズ長崎新地保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	どの子ども達もみんなが主体的に自由に表現することを尊重し、のびのびと「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」ことを体現できた。子どもの気持ちを汲み取り受け止める大切さを園内研修で学び、常に念頭においた保育環境作りに励むことができている。
子どもの発達援助	個々の発達について、ケースカンファレンスをこまめに行い、より良い成長へ促すための方法を考えトライしてきた。気になる子については絵カードを使用した視覚で訴える保育や見通しを持った保育などを行いながらその子に合った保育を実践することができ、同時に保育の質の向上にも繋がっている。
保護者に対する支援	保護者からの連絡内容は全体共有を必ず行い漏れることのないよう徹底した。また、どの保育士でも送迎時に子どもの様子や良いところなどを伝え成長を共に喜び合うよう努めた。保護者懇談会では育児相談を通して職員及び保護者同士のコミュニケーション作りの場も取り計らうようにした。
保育を支える組織的基盤	MTGの枠を超え、職員それぞれが必要なことを話し合いその都度解消していく流れが作り上げられており円滑な保育運営ができたように思う。課題としていた保育の統一化もベテラン・若手職員関係なく様々な対応方法や方針を年間通して学び、共通認識として捉えられるようになった。

総評
保育理念や保育目標を理解し、「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」を軸に子どもがのびのび自分を表現できる保育を意識した計画を策定し、子どものみならず大人である職員も共におもいっきり遊び学ぶ姿を見ることができた。個々の発達援助においても、何をすることでその子にとってより良い成長へと繋がるかを考え実践、そしてまた考え実践を繰り返し、その結果、子どもの成長を後押しする保育技術が備わったと思う。職員全体が些細な疑問でも解消しやすい環境作りに大いに貢献しており、今日より明日をもっと良くしようという風土作りが可能となっている。盤石な組織基盤ができたことを誇りに思う。